



## 平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月2日

上場会社名 オルガノ株式会社

上場取引所 東

コード番号 6368 URL <http://www.organo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 内田 裕行

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 浜田 豪一

TEL 03-5635-5111

四半期報告書提出予定日 平成24年11月9日

配当支払開始予定日

平成24年12月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	29,566	△2.2	1,010	△51.2	1,045	△47.4	634	△40.4
24年3月期第2四半期	30,223	17.5	2,071	130.5	1,986	164.5	1,063	190.0

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 644百万円 (△39.2%) 24年3月期第2四半期 1,059百万円 (222.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	11.01	—
24年3月期第2四半期	18.46	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	79,154		43,312			54.2
24年3月期	84,709		43,015			50.4

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 42,939百万円 24年3月期 42,669百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末		
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00	
25年3月期	—	6.00				
25年3月期(予想)			—	6.00	12.00	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	70,000	2.2	4,000	△17.5	3,900	△18.4	2,200	△18.0	38.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)第1四半期連結会計期間より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	57,949,627 株	24年3月期	57,949,627 株
25年3月期2Q	334,871 株	24年3月期	331,721 株
25年3月期2Q	57,616,029 株	24年3月期2Q	57,624,324 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要を背景に緩やかな景気回復に向かいつつも、円高の継続、欧州の債務危機や中国の経済成長減速など世界景気の下振れ懸念などを背景に先行き不透明なまま推移しました。

当社グループを取り巻く市場環境は、国内では企業の生産活動の回復に伴い、設備投資も緩やかな持ち直しの動きがみられますが、生産拠点の統廃合や海外移転の動きは継続しており、また、主たる海外市場である中国などのアジア地域では、投資の縮小や先進国向け輸出環境の悪化といった景気減速がみえはじめるなど依然として厳しい状況にあります。

このような状況のもと、当社グループは引き続き産業全般・海外分野での営業体制を強化し、受注及び売上の拡大に取り組むとともに、コストダウンなどの収益の改善にも取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間は受注高31,834百万円（前年同期比15.5%減）、売上高29,566百万円（同2.2%減）、営業利益1,010百万円（同51.2%減）、経常利益1,045百万円（同47.4%減）、四半期純利益634百万円（同40.4%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

また、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの利益(又は損失)の測定方法を変更いたしました。変更の内容及び影響額につきましては、「3. 四半期連結財務諸表 (5)セグメント情報等」に記載しております。

## [水処理エンジニアリング事業]

当事業におきましては、国内における震災の復旧対応があった前年同期に比べ、受注は減少しました。また、一般産業分野を中心に前期からの受注残が売上となった一方で、国内外における設備投資やメンテナンス、改造工事の延期などにより、電子産業分野の売上が減少しました。また、売上の減少に加え、採算性の低下により、受注高22,022百万円（前年同期比20.4%減）、売上高20,253百万円（同2.3%減）、営業利益556百万円（同51.7%減）となりました。

## [機能商品事業]

当事業におきましては、顧客工場の操業度に低下がみられ、事業全般で受注及び売上が低調に推移し、採算性が低下した結果、受注高9,812百万円（前年同期比1.7%減）、売上高9,312百万円（同2.0%減）、営業利益454百万円（同50.5%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産の残高は、前連結会計年度末に比べ5,555百万円減少し、79,154百万円になりました。これは主に、現金及び預金2,662百万円及び受取手形及び売掛金2,230百万円の減少によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債の残高は、前連結会計年度末に比べ5,852百万円減少し、35,842百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金5,418百万円の減少によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ296百万円増加し、43,312百万円になりました。これは主に、四半期純利益の計上に伴う利益剰余金288百万円の増加によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ2,662百万円減少し、7,610百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、営業活動によって支出された資金は、2,348百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益1,024百万円及び売上債権の減少2,785百万円による資金の増加に対し、仕入債務の減少5,520百万円による資金の減少があったことによるものであります。（前第2四半期連結累計期間は4,353百万円の支出）

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、投資活動によって支出された資金は、625百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出635百万円によるものであります。（前第2四半期連結累計期間は524百万円の収入）

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、財務活動によって得られた資金は、264百万円となりました。これは主に、短期借入金の純増額2,112百万円による資金の増加、長期借入金の返済による支出1,500百万円及び配当金の支払345百万円によるものであります。（前第2四半期連結累計期間は1,035百万円の支出）

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年10月29日に公表いたしました通期の連結業績予想は変更しておりません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」第19項の規定により、「中間財務諸表等における税効果会計に関する実務指針」第12項(法定実効税率を使用する方法)に準じて計算しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更による損益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,273	7,610
受取手形及び売掛金	29,246	27,016
リース投資資産	8,400	8,138
商品及び製品	3,881	3,928
仕掛品	4,283	4,950
原材料及び貯蔵品	877	981
繰延税金資産	833	846
その他	2,190	1,250
貸倒引当金	△98	△128
流動資産合計	59,888	54,593
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	17,309	17,381
減価償却累計額	△9,697	△9,949
建物及び構築物（純額）	7,612	7,431
機械装置及び運搬具	4,821	4,894
減価償却累計額	△4,018	△4,064
機械装置及び運搬具（純額）	802	829
土地	12,489	12,490
建設仮勘定	37	51
その他	3,833	3,923
減価償却累計額	△3,186	△3,264
その他（純額）	647	658
有形固定資産合計	21,589	21,460
無形固定資産	380	343
投資その他の資産		
投資有価証券	846	799
繰延税金資産	1,610	1,625
その他	734	678
貸倒引当金	△339	△347
投資その他の資産合計	2,851	2,755
固定資産合計	24,821	24,560
資産合計	84,709	79,154

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,118	12,699
短期借入金	7,134	9,098
未払法人税等	1,186	302
前受金	705	1,241
繰延税金負債	1	5
賞与引当金	968	966
製品保証引当金	139	136
工事損失引当金	150	108
災害損失引当金	24	—
その他	2,449	1,744
流動負債合計	30,879	26,303
固定負債		
長期借入金	6,753	5,403
繰延税金負債	0	0
退職給付引当金	3,953	4,007
その他	107	127
固定負債合計	10,814	9,538
負債合計	41,694	35,842
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	8,225	8,225
資本剰余金	7,508	7,508
利益剰余金	27,508	27,796
自己株式	△321	△323
株主資本合計	42,920	43,206
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	107	78
繰延ヘッジ損益	2	△0
為替換算調整勘定	△359	△345
その他の包括利益累計額合計	△250	△267
少数株主持分	345	372
純資産合計	43,015	43,312
負債純資産合計	84,709	79,154



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	30,223	29,566
売上原価	21,682	21,979
売上総利益	8,540	7,587
販売費及び一般管理費	6,469	6,576
営業利益	2,071	1,010
営業外収益		
受取利息	17	14
受取配当金	19	9
固定資産賃貸料	16	15
為替差益	—	43
その他	29	55
営業外収益合計	82	139
営業外費用		
支払利息	63	66
為替差損	26	—
持分法による投資損失	54	28
その他	22	9
営業外費用合計	166	104
経常利益	1,986	1,045
特別利益		
投資有価証券売却益	7	—
その他	1	—
特別利益合計	8	—
特別損失		
固定資産廃棄損	2	3
投資有価証券評価損	—	10
施設利用権評価損	—	6
貸倒引当金繰入額	32	—
特別損失合計	35	20
税金等調整前四半期純利益	1,959	1,024
法人税等	871	367
少数株主損益調整前四半期純利益	1,088	657
少数株主利益	24	23
四半期純利益	1,063	634

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,088	657
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△52	△27
繰延ヘッジ損益	△2	△3
為替換算調整勘定	27	18
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△1
その他の包括利益合計	△28	△13
四半期包括利益	1,059	644
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,030	616
少数株主に係る四半期包括利益	29	27

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,959	1,024
減価償却費	562	558
引当金の増減額 (△は減少)	△495	18
受取利息及び受取配当金	△36	△24
支払利息	63	66
為替差損益 (△は益)	2	△37
持分法による投資損益 (△は益)	54	28
投資有価証券売却損益 (△は益)	△7	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	10
固定資産廃棄損	2	3
売上債権の増減額 (△は増加)	1,626	2,785
リース投資資産の増減額 (△は増加)	△3,024	262
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,256	△783
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,365	△5,520
その他	△1,200	540
小計	△3,114	△1,065
利息及び配当金の受取額	36	24
利息の支払額	△59	△68
法人税等の支払額	△1,215	△1,239
営業活動によるキャッシュ・フロー	△4,353	△2,348
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額 (△は増加)	586	—
有形固定資産の取得による支出	△850	△635
無形固定資産の取得による支出	△40	△30
投資有価証券の取得による支出	△4	△5
投資有価証券の売却による収入	8	—
貸付けによる支出	△965	△191
貸付金の回収による収入	721	230
土地譲渡契約に伴う手付金等収入	1,065	—
その他	2	5
投資活動によるキャッシュ・フロー	524	△625
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	148	2,112
長期借入金の返済による支出	△802	△1,500
配当金の支払額	△345	△345
少数株主への配当金の支払額	△33	—
その他	△3	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,035	264
現金及び現金同等物に係る換算差額	27	47
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△4,837	△2,662
現金及び現金同等物の期首残高	13,376	10,273
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,538	7,610

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	水処理エンジ ニアリング 事業	機能商品 事業	計	
売上高				
(1) 外部顧客に対する売上高	20,723	9,499	30,223	30,223
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	20,723	9,499	30,223	30,223
セグメント利益	1,152	918	2,071	2,071

(注) セグメント利益は、営業利益ベースの数値であり、四半期連結損益計算書の営業利益との間に差異はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	水処理エンジ ニアリング 事業	機能商品 事業	計	
売上高				
(1) 外部顧客に対する売上高	20,253	9,312	29,566	29,566
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	20,253	9,312	29,566	29,566
セグメント利益	556	454	1,010	1,010

(注) セグメント利益は、営業利益ベースの数値であり、四半期連結損益計算書の営業利益との間に差異はありません。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、各セグメントの経営実態をよりの確に把握できる体制が整ったため、全社共通営業費用のうち各セグメントへの関連が明確な費用については各セグメントに直接賦課する方法に変更いたしました。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の配賦方法に基づき作成したものを開示しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

該当事項はありません。